

# サポセン mail No.190 2019.7.20 発行

＜発行元＞ 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター  
千葉市緑区誉田町 2-21-684-101 TEL&FAX 043-377-8490  
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp  
URL:http://saposen.konjiki.jp



## 総会が開催されました

梅雨入りした関東地方でしたが、雨も降らず涼しかった6月9日に2019年度通常総会が開催されました。昨年お引越しをしてアパートの一室に構えている事務所なので、一つ一つの部屋が狭いのですが、今回は参加のかたが少なくテーブルを囲んで座ることができました。長年いつも総会に来てくださる正会員さんが欠席だったので、寂しかったのですが、監事を務めてくださっている青年こゆりも東京から駆けつけてくれました。



ちょうど総会の数日前に札幌で2歳の女の子が両親の虐待により亡くなられたニュースがあり、とても心が痛みます。もう少し前には通学バスを待つ小学生を狙った殺人事件や自動車の暴走による母子の犠牲など、今年に入ってから子どもを取り巻く悲しいニュースが続いています。緑区は一見平穏のようですが、関わっている子どもたちの学校での様子を聞いたり、リラックス館で他機関と連携を取らざるを得ない案件などから、決して平穏ではないことも感じます。

総会では「子育てリラックス館」や「あそび塾」「中学生グループ」の事業報告、決算報告、事業計画、予算計画が議事として提案され、無事に第1～第5号議案が可決されました。その中で監査報告をしてくださった監事さんからもお仕事で関わる機関の親子さんの様子が当会の近況報告と重なる部分があるというお話がありました。そして困難なケースに対応するスタッフがセルフケアをすることで疲弊しすぎないことが、結果として困っている方々への温かい支援に繋がっていくのではないかとのご意見に深く頷きました。

今年は理事監事（制度上は役員と呼ばれる）の選任もあり、安藤・大塚・高山・田中・山倉の5名の理事と渡辺さん・伊藤さんの2名の監事さんの承認が得られました。2019.2020年度の任期となります。なお、今回理事会互選により安藤弘美理事長が選出され、高山からバトンを渡されます。今年度も子どもたちの笑顔を大切にして、学校や習い事とは違うサードスペースとしての活動を行っていきたいと思いますので、会員の皆様には引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。（高山）



# 誰でも主役になれる



## 「ボッチャ」を体験！

2020年の東京オリンピック・パラリンピックまであと1年足らずとなりましたが、6月のあそび塾ではそこで開催される「ボッチャ」と「ゴールボール」を体験しました。「ボッチャ」は重度の脳性まひや重度障害が四肢にある人のためにヨーロッパで考案されたスポーツです。1984年からパラリンピックの正式競技として行われていますが、男女の区別はなく障害の程度で4クラスに分けられています。ボールを投げることができないBC3クラスの選手にはランプという勾配具もあり、高さを調節することでボールのスピード速くしたり、遠い距離を狙ったりすることも出来ます。また、アシスタントが選手をサポートすることも出来ます。



この日の講師は千葉大の下永田修二先生です。「次のオリンピックはどこでやるか知ってる？」ほぼ全員が「東京オリンピック！」と答えます。「前のオリンピックはどこだったか知ってる？」7~8人が手をあげて「リオデジャネイロオリンピック。」と言います。みんなよく知っていますね。

初めに「ボッチャ」についてのビデオを見せてもらいました。

「ボッチャ」は初めにジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールを投げ、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをそれにいかに近づけるかを競います。相手のボールを弾いたりして、自分が優位に立てるよう位置取りをしたり少しカーリングの戦術に似ていますね。



れいちゃんが作ってくれた割りばしのくじを引いて、3人ずつ4チームに分かれました。あじさい・カタツムリ・かえる・長ぐつのは4チームです。各チームで少し練習した後、すぐに4チームの総当たり戦で試合をしました。

初戦は赤のあじさいチーム対青のカタツムリチームで審判は長ぐつチームです。

先攻のチームが最初の白いジャックボールを投げ、続けて先攻の赤のボールを投げます。できるだけジャックボールに近づけようとしますが、だいぶ手前で止まってしまうたり、ころころずっと先まで転がってしまったり「あ〜！」としゃがみこんだり、「やったー！」と飛びあがったり、みんなの歓声があがります。ポッチャのボールは表面が柔らかくて、ふつうのボールと違うので思うようにはいきません。逆に普段は



あまりボールの競技が得意でない子でも、相手のボールをはじいて大逆転になったり。そんな時のはじけるような笑顔は本当に印象的でした。

対戦チームではないチームが審判を務めることで、やりながら子どもたちはルールを理解していったようです。

ジャックボールからより遠い位置にボールを投げた側の選手がその次の投球を行います。

ジャックボ

ールからの距離が微妙な時もあり、大小いろいろなコンパスやメジャーで審判が判断します。全てのボールを投げ終わった時点で、ジャックボールにもっとも近いボールを投げたチームにのみ特点が入ります。相手の一番近いボールより内側にあるボールの数が得点になります。総当たり戦の優勝は7得点をとったかえるチームでした。



残りの時間を使って「ゴールボール」も体験しました。ゴールボールは目隠しをしながら、鈴の入ったボールを転がしゴールに入れることで得点する競技です。初めにみんなでボールをさわり、鈴の音を確認しました。次に目隠しをして転がるボールを受けてみましたが、な



かなか難しかったようです。どちらもパラリンピックの競技ですが、障害がなくともとても楽しめるスポーツでした。来年のパラリンピックがとても楽しみになりました。(記 安藤)



# 子どものあそび☆アート体験ひろば

2019年7月24日(火) きぼーる & 千葉市文化センター



## こま・けん玉あそび



こまやけん玉などをつかって面白い技や、すごい技を見せてくれます。誰でもけん玉やこまができるようになるよ。



## アフリカンパーカッション

アフリカの太鼓をたたこう。リズムに乗ってアフリカダンスをのりので踊っちゃおう！楽しいよ！



## 殺陣・アクション



アクション俳優（Eテレ・シャキーン・oh!グラビティ〜!出演中）と殺陣・アクションをしよう。



## ダンス



グループに分かれて、参加者が意見を出し合ってダンスを作り上げます。発表しあってみんなで交流。



★ 参加費 各プログラム 300円

★ 募集人数 各プログラム 15名

★ プログラムの対象は小学生ですが、幼児対象の「あそびのひろば」もあります。